

平成27年度 事後評価点検表（内部評価）

事業名	南海本線（泉佐野市）連続立体交差事業									
担当部署	都市整備部 交通道路室 都市交通課 連立・鉄軌道グループ（06-6944-9281）									
事業箇所	泉佐野市湊1丁目～東羽倉崎町									
事業目的及び事業内容	<p>【事業目的】 本路線は、大阪市と和歌山・関西国際空港を結ぶ幹線鉄道であり、とりわけ、本事業区間のラッシュ時における踏切遮断は長時間にわたり、踏切部で発生する交通渋滞が著しい。そこで、踏切を除却し、沿線の交通渋滞を緩和するとともに、鉄道による市街地分断を解消するものである。</p> <p>【事業内容】 事業延長 : 2.8 km 高架化される駅：泉佐野駅 踏切除却数 : 9箇所</p>									
関連事業とその現状	<p>泉佐野駅上西地区第一種市街地再開発事業（H4.10：完了）</p> <p>泉佐野駅上東地区第一種市街地再開発事業（H18.12：完了）</p>									
社会経済情勢の変化	<p>【踏切交通量と遮断時間】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H14年度調査</td> <td>H18年度調査（踏切除却後）</td> </tr> <tr> <td>総踏切交通量</td> <td>40,951台/日</td> <td>44,002台/日</td> </tr> <tr> <td>平均踏切遮断時間</td> <td>8.99時間</td> <td>0時間</td> </tr> </table>		H14年度調査	H18年度調査（踏切除却後）	総踏切交通量	40,951台/日	44,002台/日	平均踏切遮断時間	8.99時間	0時間
	H14年度調査	H18年度調査（踏切除却後）								
総踏切交通量	40,951台/日	44,002台/日								
平均踏切遮断時間	8.99時間	0時間								
事業実施による自然環境の変化	既成市街地における既存の鉄道の立体交差事業であり、新たに自然環境に与える影響はほとんどない。									
最終評価時の意見 具申（付帯意見） と府の対応	<p>【最終評価時の意見】 「事業継続」 ・事業を巡る社会経済情勢に大きな変更はなく、前回評価時以降、事業が計画的に進捗している「事業継続」</p> <p>【府の対応】 「事業継続」</p>									

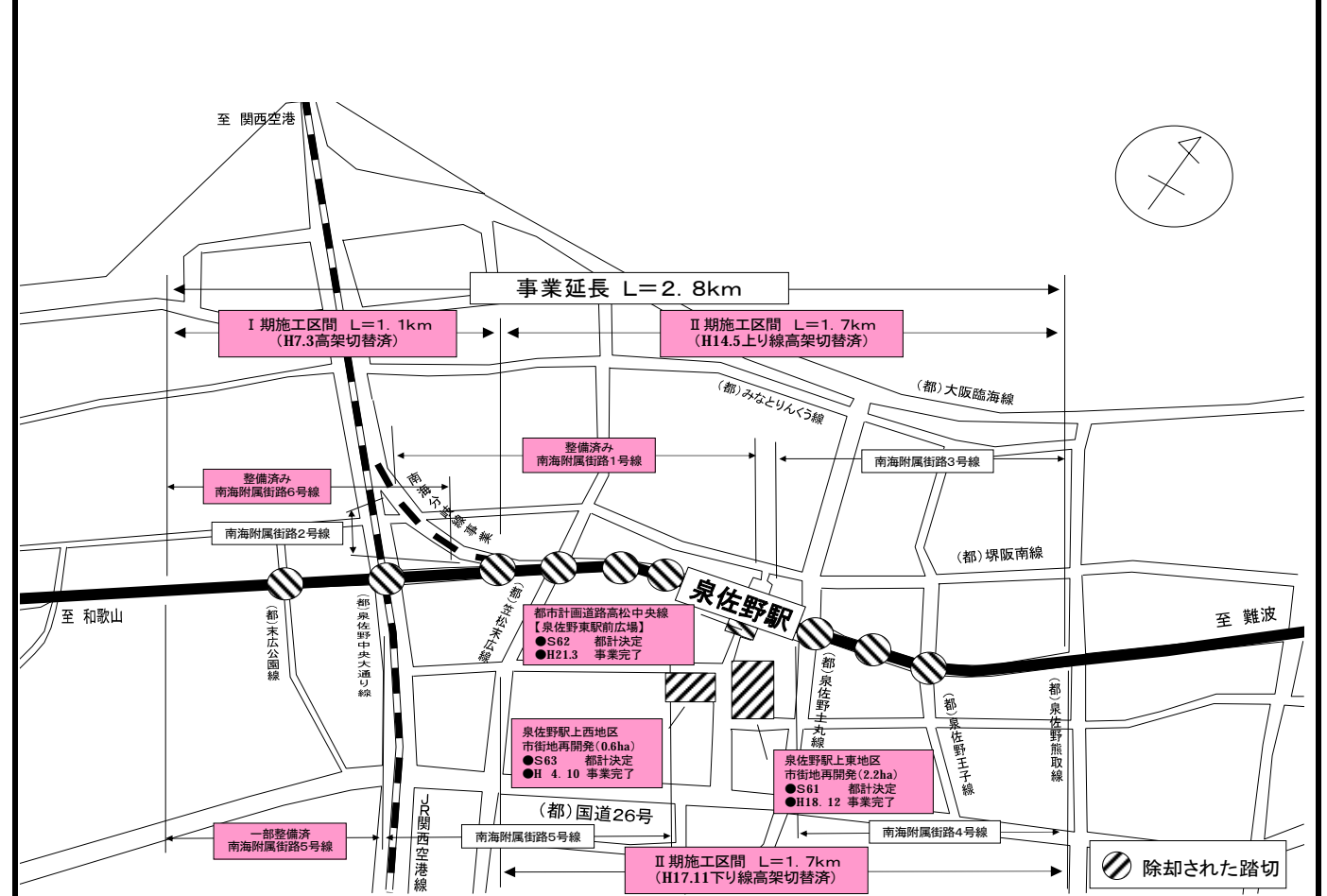
	【最終評価時点 H20】	【完了時点 H27】	【分析】
事業費	533億円 （国：181億円、府：117億円、市：59億円、鉄道：176億円）	526億円 （国：170億円、府：121億円、市：61億円、鉄道：174億円）	側道工事費の減額等による減。
①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	① 23年間 ② S62年度 ③ S62年度 ④ H22年度	① 23年間 ② S62年度 ③ S62年度 ④ H22年度	関連側道も含めて完成。
定量的効果 （費用便益分析等）	<p>【効果項目】 ・移動時間短縮便益 ・走行経費減少便益</p> <p>【分析結果】 ・B/C=2.13 B=853.8億円 C=405.2億円</p> <p>【算出方法】 H12連続立体交差事業の費用便益分析マニュアル（案）</p> <p>【受益者】 道路利用者、府民など</p>	<p>【効果項目】 ・移動時間短縮便益 ・走行経費減少便益 ・交通事故減少便益</p> <p>【分析結果】 ・B/C=2.35 B=1,224.4億円 C=522.0億円</p> <p>【算出方法】 H20費用便益分析マニュアル（連続立体交差事業編）</p> <p>【受益者】 道路利用者・府民など</p>	効果項目及び分析結果の違いは、準拠したマニュアルによる。
事業効果の定性的分析 （安心・安全、活力、快適性等の有効性）	<p>【効果項目】 ・踏切除却により踏切事故が解消される。 ・踏切除却及び渋滞緩和により緊急車両の通行が容易になる。 ・駅及びその周辺施設の整備にあわせバリアフリー化が促進される。 ・鉄道の高架化により市街地の分断が解消され、高架下に公共施設や商業施設が整備され、利便性が向上し、地域コミュニティの活性化が図られる。 ・駅の高架化にあわせて、駅前周辺の街づくりを一体的に進めることにより駅前広場や駅周辺の道路整備が促進され、交通結節機能が向上し、地域の活性化が図られる。 ・踏切の撤去により、渋滞が緩和されバス等の定時制が確保される。 ・渋滞の解消に伴い、大気汚染、騒音等の改善が図れる。 ・鉄道高架化により騒音の改善が図れる。</p> <p>【受益者】 地域住民、道路利用者等</p>	<p>【効果項目】 同左</p> <p>【受益者】 同左</p>	<p>目的を達成している。</p> <p>また、連立事業や駅前広場の完成により、周辺地域の活性化の促進などまちの賑わいが増す等の効果も確認されている。</p>
その他特記事項	なし		
評価結果 （事業効果の発現状況等）	<p>・平成17年度に鉄道高架化が完了し、9箇所の踏切除却により、踏切遮断時間が解消され、交通渋滞緩和の効果が発現した。</p> <p>・関連側道も含む平成22年度の事業完了により、沿線住民の日常生活や泉佐野駅のアクセス道路として、沿線地域の利便性を大きく向上させた。</p>		
今後の同種事業に対する改善措置等	なし		

平成27年度 事後評価 (南海本線(泉佐野市)連続立体交差事業)

事業箇所図



平面図



現況写真



標準断面図

